

安曇野日和

連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智

過日猛威を振るった台風19号により長野県内にも甚大な被害が及びました。被災された地域の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、去る9月末に厚生労働省が全国の公立病院および赤十字病院などの公的病院の統廃合及び再編成の検討を求める参考データを発表しました。これは5年ほどから提言されている「地域医療構想」の流れの一つと考えられます。地域医療構想とは少子（超）高齢化と人口減少という我が国が直面している問題に対して医療の環境を適正化するために、具体的には2025年時の機能別病床数というものを想定した可能な限りこの病床数に近づけるというものです。

松本圏域では比較的早い段階で地域医療構想に関する会合が持たれました。鮮明に記憶しているのは圏域の病院長を集めた会議の中で、「2025年に向けて病床を減らしていく必要がある」と最初に釘を刺しておきながら「今日集まった病院のベッドを減らすという訳ではありません」と言うのです。この矛盾した回答から多くの関係者は「公的病院からメスを入れられるのだろう」と考えました。その後もこの会議は繰り返されたのですが、一向に話は進展しない。「仕方ない、私の病院からベッドを減らしていきましょう」という病院が現れないのだから当然と言えば当然でしょう。業を煮やして唐突に文頭の発表に至ったのですが、世間で「頼りにしている町の病院が消える」と大騒ぎになった水面下では、政治家の出席する厚生労働委員会の中、「民間病院も一体化して考えていく必要がある」との意見が出始めています。当初の矛盾から徐々にきな臭さを帯びてきましたが、少子高齢化と人口減少は切実な問題ですから目を背けるわけにもいきません。実際には全国の病床数はゆっくりと減少しています。それでは2025年に間に合わない、とテコが入れられたと考えるべきでしょうか。

表紙写真 写真タイトル：「燕岳山頂からの富士山」 撮影者：樋口 孝

雲に隠れそうな小さく見える富士山を撮りました。右側に映っているのが、燕山荘です。

7月 七夕レク



7月の始めに、各病棟に笹を用意し、患者さんと短冊を書いたり七夕飾りを作り、季節の行事を楽しみました。短冊には、「病気を治したい」「楽しく過ごしたい」等の願い事が多くありました。

1-1病棟は患者さんみんなでカラオケを楽しみました。



1-3病棟ではお楽しみ会として、手作りのゲームを2種類行い盛り上がりました。紙皿を箸でひっくり返すゲームと、紙皿で作ったフリスビーで飛距離を競うゲームをして楽しみました。また、おやつには、患者さんと一緒に作ったババロリアを提供しました。



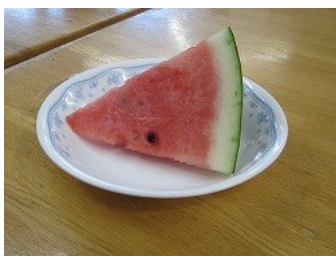
2-3病棟では、七夕レクとして手作りの星釣りゲームを行いました。皆一生懸命星を釣って大いに盛り上がりました。おやつはあじさいゼリーを提供しました。かき氷シロップを使うことで、鮮やかな色のゼリーになり、見た目も味も大好評でした。

8月 各病棟 スイカ割り

8月に各病棟でスイカを食べるレクが行われました。

1-1病棟は職員によるギター演奏とともにレクを楽しみました。

1-3病棟はスイカ割りの他に、かわいく作られた金魚すくいと紐引き、紐の先には職員からのメッセージやクイズが付いており、それらを開いて楽しみました。



2-2病棟では、的当てゲームをしました。うまく当たればスイカが一つおまけとあり、参加した患者さんは真剣に狙っていました。的当てゲームに参加しない患者さんも、ゲームの様子を楽しそうに見ていました。



2-3病棟では、離れたところから周りの誘導に従って、スイカそっくりのビーチボールをたたいて楽しみました。



スイカは波田産の一級品で、患者さんの食事形態に合わせて提供されました。全ての患者さんが安全に食べられるよう配慮されていました。



10月 秋祭り

10月16日（水）に、病院行事の秋祭りが体育館にて行われました。会場内の装飾も患者さんがOTの活動内で何ヶ月も前からコツコツと作ってきた作品です。高柳先生による開会のあいさつの後、秋祭りの実行委員である患者サービス委員とOT職員による、きよしのズンドコ節の発表をしました。きよしのズンドコ節は患者さんからの人気の歌で、口ずさんだり、手拍子をしながら楽しまれている方も見られました。



今回の秋祭りでは、カラオケ大会と屋台を並行して行いました。カラオケ大会では、各病棟から2名の代表者がステージに立って歌を披露し、得点を競いました。代表者を決める予選や歌の練習はOTの活動内で行われ、この日の為に一生懸命練習してきました。参加者からは、「緊張して普段の力を発揮できなかった」との感想も聞かれましたが、皆とても上手に歌えていました。

屋台では、輪投げゲーム、ジュース、プリンパフェ、焼きそば、そば・うどんの5つの屋台を実施しました。輪投げゲームは職員手作りの輪投げセットを使用し、入った輪の数に応じてお菓子の景品がもらえる、というもので患者さんは楽しく取り組んでいました。

そば・うどん、焼きそばは大人気で、各100食がすぐに完売していました。プリンパフェはプリンにホイップやフルーツソース、チョコレートスプレーをかけ、どの食事形態の患者さんでも楽しめるように工夫されており、多くの方がおいしく食べることができました。

患者さんからは、「歌が良かった、上手だった」「良い企画をしてくれて良かった」「輪投げは2回入ってお菓子がもらえて良かった」等の感想が聞かれ、年に一度のお祭りを楽しむことが出来たようでした。



職場体験



7月22日・23日の2日間、三郷中学校2年生の5名（男子1名・女子4名）が毎年恒例の職場体験に来院しました。薬剤部では、全自動錠剤分包機を使用しての錠剤の調剤や、散薬、軟膏の調剤を体験しました。少し緊張しながらも、皆真剣に取り組んでいる様子が見られました。



出前講座

ミサトピア小倉病院では、地域住民の皆様の健康づくりの支援を目的とした出前講座を、ロピテルー日市場 森と湖（安曇野市三郷明盛1491）を会場に、6月～11月の全6回のシリーズで実施しました。

小倉病院の役割、介護保険について、食中毒や脱水の予防、認知症予防といったテーマを職員が企画し、地域の皆様にお話しさせていただきました。

大勢の方の参加があり、講座の後に設けられた茶話会では、感想を語り合ったり職員に質問をしたりと、日差しが入る明るい会場と相まって活発な雰囲気が感じられました。



病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 地域への貢献
2. 医療安全・サービスの質の向上
3. 職場の環境づくり
4. 医療介護福祉の連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟200床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されることなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私達は治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103

長野県安曇野市三郷小倉6086-2

TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団

ミサトピア小倉病院

編集後記

晩秋を迎え、病院周辺ではリンゴの収穫が盛んにおこなわれています。当院の患者さんもリンゴが好きという方が多く、この季節は浮足立つ方もいるようです。院内では秋祭りが行われ、屋台には普段とは違った食べ物が並びました。今回の広報には掲載されませんでしたでしたが、食事療養部のセレクトおやつや、病棟レクで焼き芋があったりして、患者さんも食欲の秋を満喫しているようです。